

眼鏡のスペシャリスト 「認定眼鏡士」のいる メガネ店

せっかく眼鏡を作ったのに「こんなはずでは・・・」と後悔した経験はありませんか。そんなお客様にこそハセガワ・メガネ(町田市玉川学園、長谷川雅宏代表、042・724・1636)に足をお運びいただきたい。

近視・遠視・乱視・老眼と、眼鏡にも色々あるが、本当に最適な眼鏡を作ることは案外難しいものだ。どんなに視力測定をしても、使用目的に合わないレンズでは見づらく、また、目とレンズの距離や角度が違っていると見え方に影響する。こうしたことを踏まえて、確かな技術と知識で眼鏡を提供するのが「認定眼鏡士」という、いわば眼鏡のスペシャリストだ。

認定眼鏡士とは、日本で唯一、眼鏡に関する技能を集約している「公益社団法人 日本眼鏡技術協会」の検定を経て認定される資格である。一度資格を取得しても、メーカーから次々に登場する新設計のレンズや新素材のフレーム、疲れ目やドライアイ等、生活習慣から生じるさまざまな症状など、刻々と変わる業界の動向をいち早く把握しておく必要があるため、資格の有効期限は3年間で、資格維持の厳しい規定を満たさない場合には資格を喪失するというシステムになっている。現在、この資格を国家資格に移行する動きが進んでいる。

ハセガワ・メガネでは、認定眼鏡士の資格を持つ代表自らが、仕入れ、測定、販売、加工、フィッティ



「認定眼鏡士」である長谷川代表



店内には多種多様な眼鏡が並ぶ

ング等、すべてを一人でこなしている。特に測定やフィッティングに時間をかけ、お客様との会話を大切にし、使用目的や仕事、趣味、日常生活、身長、顔の作りなどを考慮し、ご希望の価格帯で、一番似合う眼鏡をおすすめしてくれる。また、木製のフレームや、耳にかけずに、耳の中にしつかりフィットし、ずれない眼鏡、ネジのない眼鏡等、珍しいフレームの取扱いや、補聴器の取扱いも行っている。そして、何度でも話してみたいと思わせる長谷川代表の気さくな人柄も、この店の大きな魅力のひとつである。眼鏡の新調をお考えの方、一度お店を覗いてみてはいかがだろうか。